



2022年11月11日

各 位

会 社 名 日本プラスチック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 永野 博久
(コード番号 7291 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役 経営企画本部長 豊田 剛志
(TEL. 0544-58-9080)

2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日付「2022年3月期 決算短信」にて発表しました、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 110,000	百万円 2,500	百万円 2,300	百万円 1,400	円銭 73.22
今回修正予想（B）	110,000	900	1,100	0	0.00
増減額（B－A）	0	△1,600	△1,200	△1,400	—
増減率（％）	0.0	△64.0	△52.2	△100.0	—
（ご参考） 前期実績（2022年3月期）	86,504	△722	△289	△8,018	△419.41

(2) 差異の理由

前回発表予想では、半導体供給不足の継続に加え、上海ロックダウンによる得意先の急激な減産及び原材料等の高騰影響は受けるものの、下期にかけては新車効果や得意先の生産回復により挽回が進むと見込んでおりました。しかしながら、半導体供給不足の長期化等により主に北米、中国では、前回発表予想時に見込んでいた以上に得意先の生産回復が遅れる見込みです。また、原材料等の高騰について、販売価格への転嫁を進めておりますが、一部、転嫁が遅れる見込みです。このような状況を受け、売上高は、依然として厳しい状況にあるものの、為替影響等により前回発表予想通りとなり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、減収影響、販売価格への転嫁遅れ等により前回発表予想を下回る見込みです。

なお、配当予想の修正はございません。

以 上

ご注意：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績等を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。